

# 2013年3月期 決算説明会

## 荏 原 (6361)

2013年5月10日



# 目次

## 1. 決算概要

取締役専務執行役員  
経理財務担当

藤本 哲司

## 2. 今期の見通しと 経営戦略

代表取締役社長

前田 東一

# 1. 決算概要

取締役専務執行役員  
経理財務担当

藤本 哲司

# 2. 今期の見通しと 経営戦略

代表取締役社長

前田 東一

# 1. 決算概要

## 2013年3月期決算 サマリー

(1/2)

(単位：億円)

	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (実績)	増減
受注高	3,949	4,285	+336
売上高	4,120	4,263	+142
営業利益	232	250	+18
経常利益	210	256	+45
当期純利益	28	153	+124

実績レート	1ドル = 79.1円	1ドル = 84.4円	—
想定レート	(上期) 1ドル = 80円 (下期) 1ドル = 75円	1ドル = 75円	—

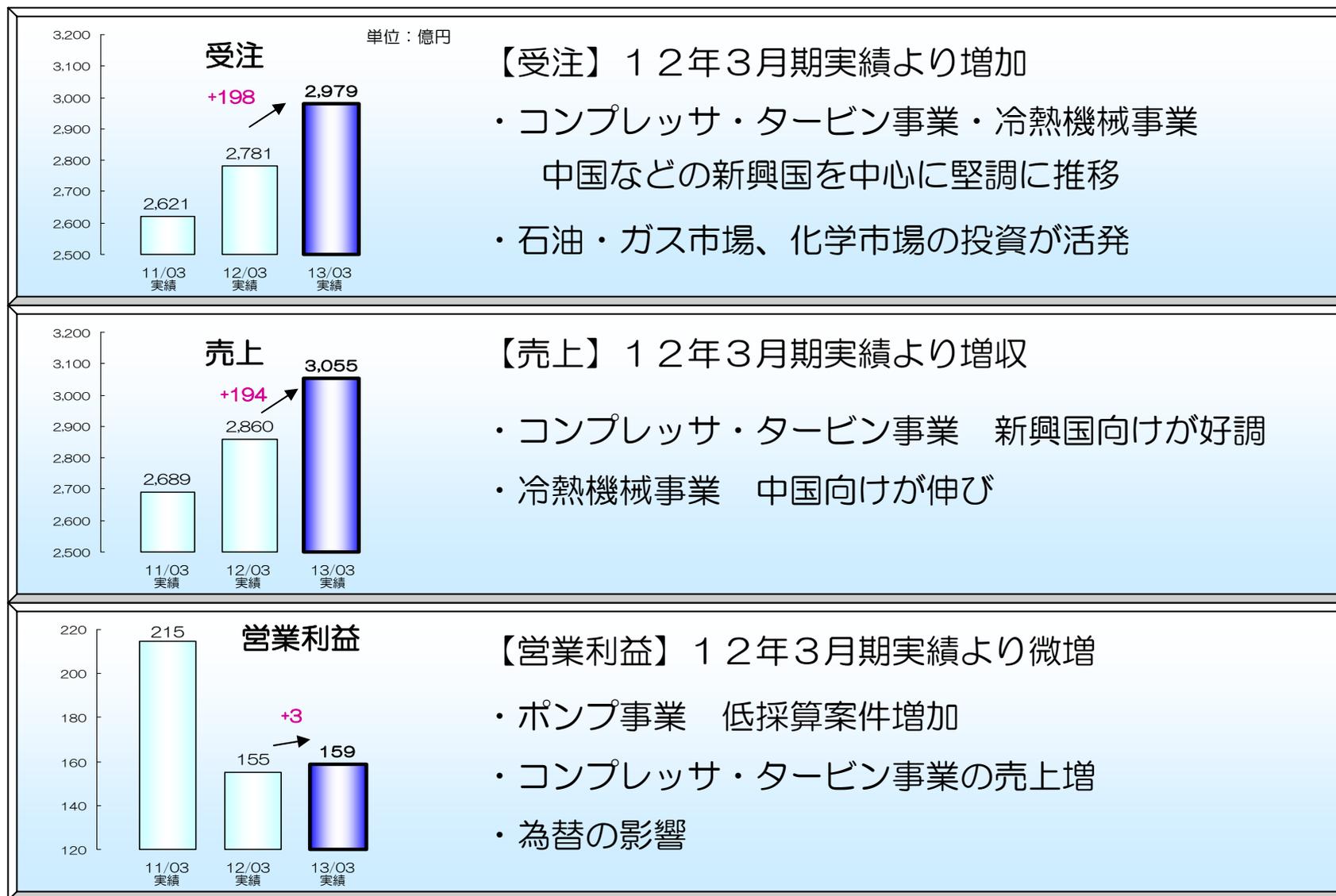
# 1. 決算概要

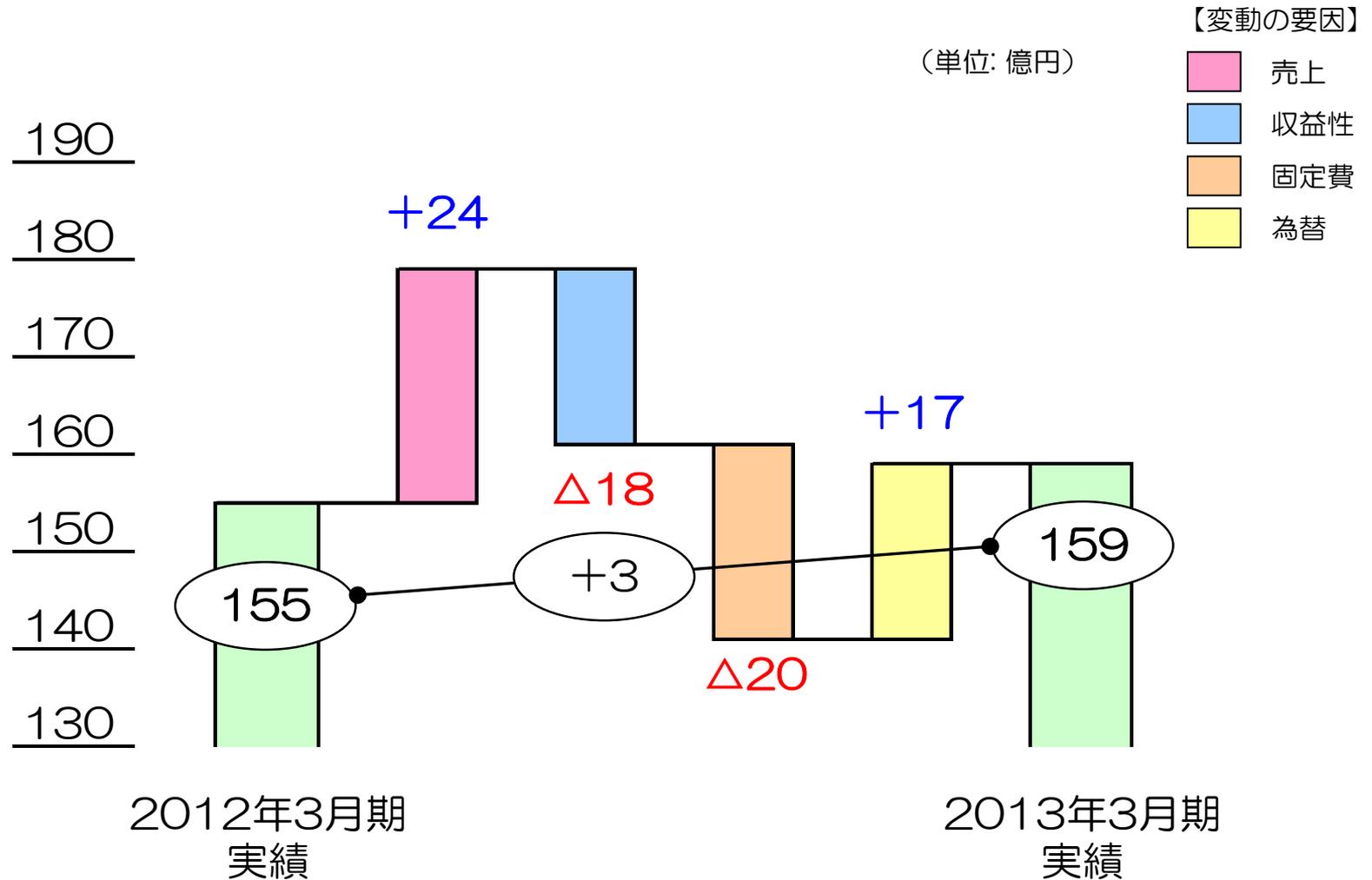
## 2013年3月期決算 セグメント別

(2/2)

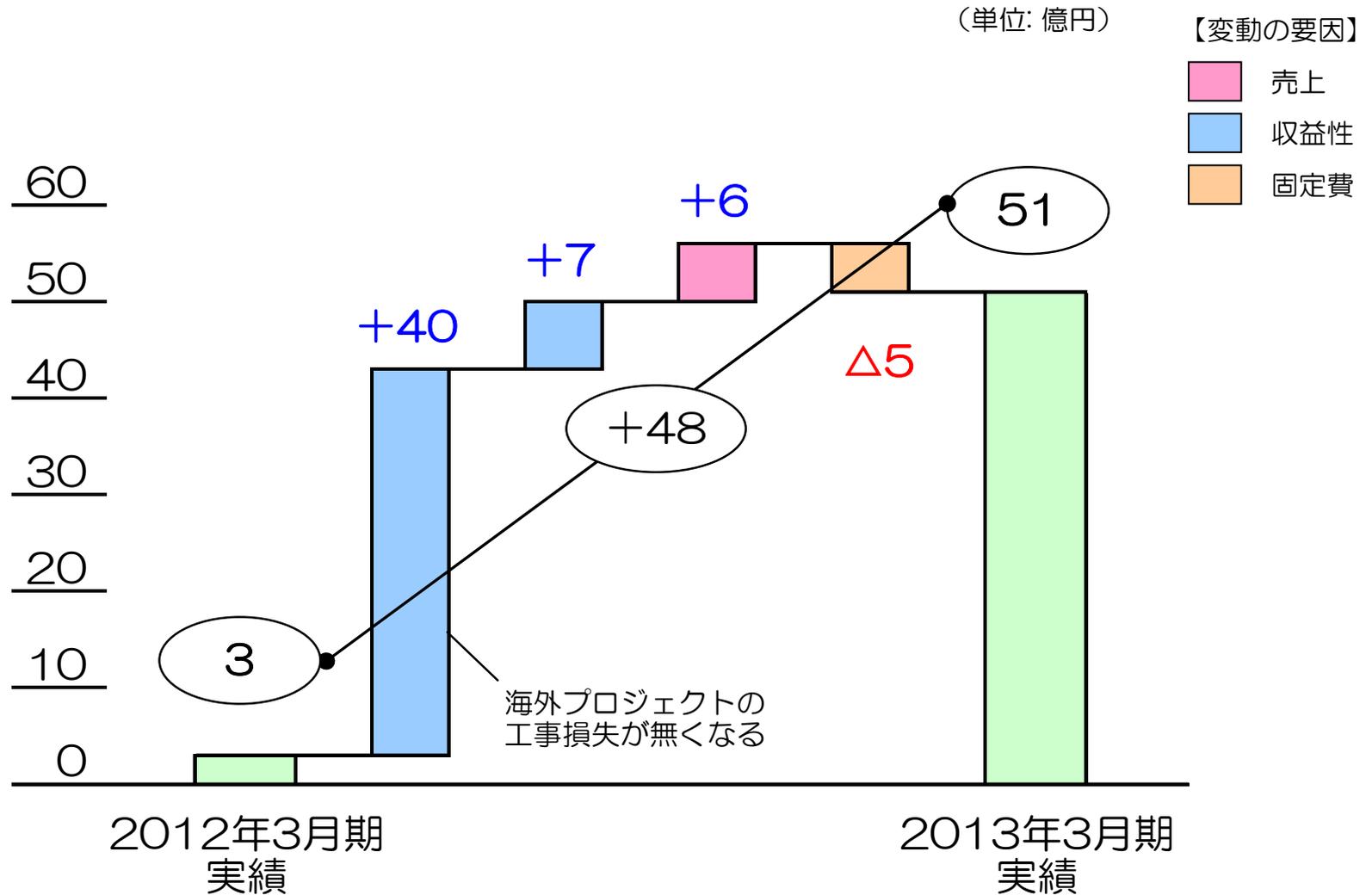
(単位：億円)

		受注高			売上高			営業利益		
		2012年 3月期	2013年 3月期	増減	2012年 3月期	2013年 3月期	増減	2012年 3月期	2013年 3月期	増減
報告セグメント	風水力事業	2,781	2,979	+198	2,860	3,055	+194	155	159	+3
	エンジニアリング事業	512	666	+153	501	524	+23	3	51	+48
	精密・電子事業	617	622	+4	683	665	△18	65	33	△32
その他の事業		37	16	△20	74	17	△57	6	5	△0
調整額		—	—	—	—	—	—	1	1	△0
合計		3,949	4,285	+336	4,120	4,263	+142	232	250	+18

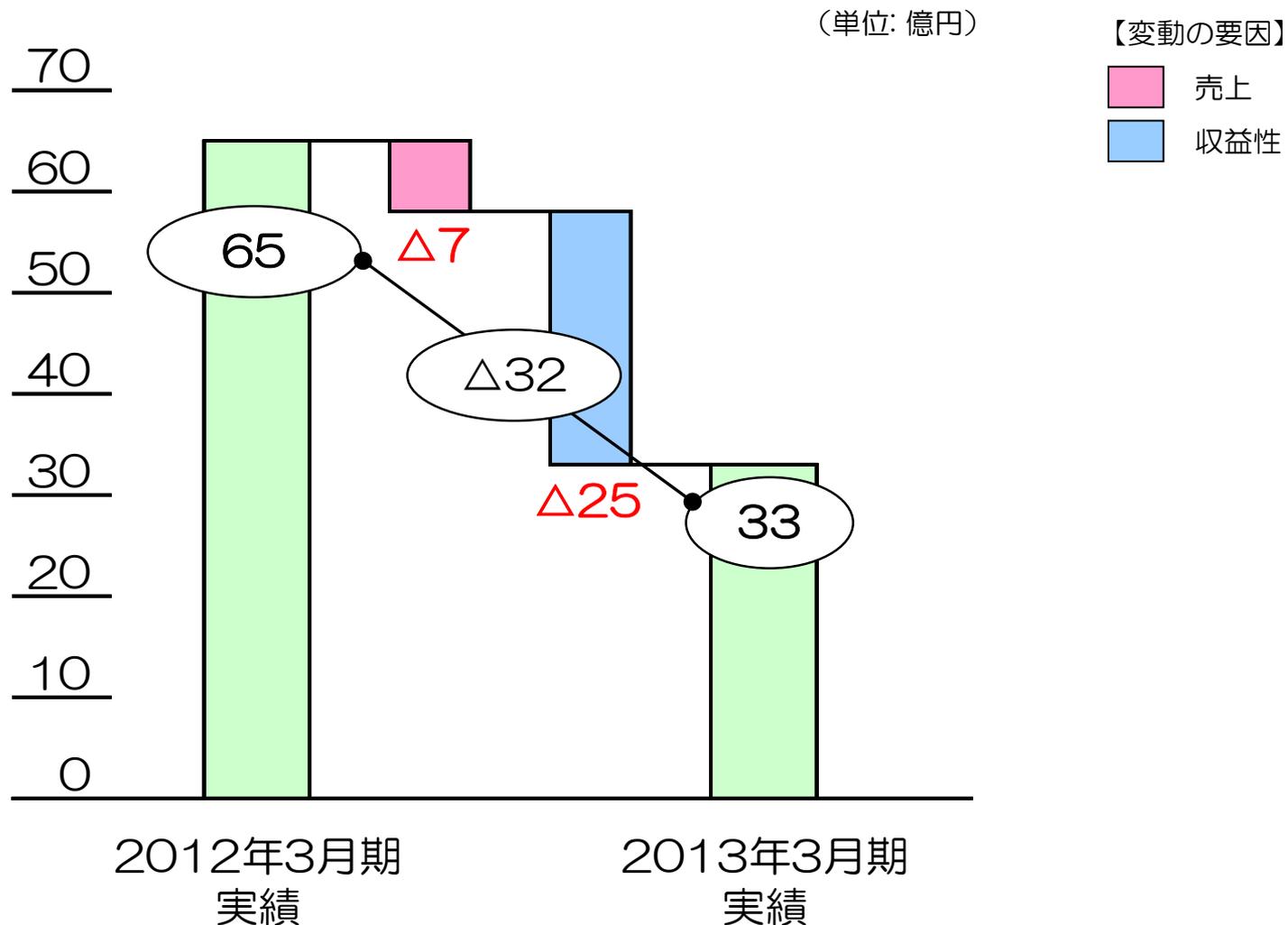






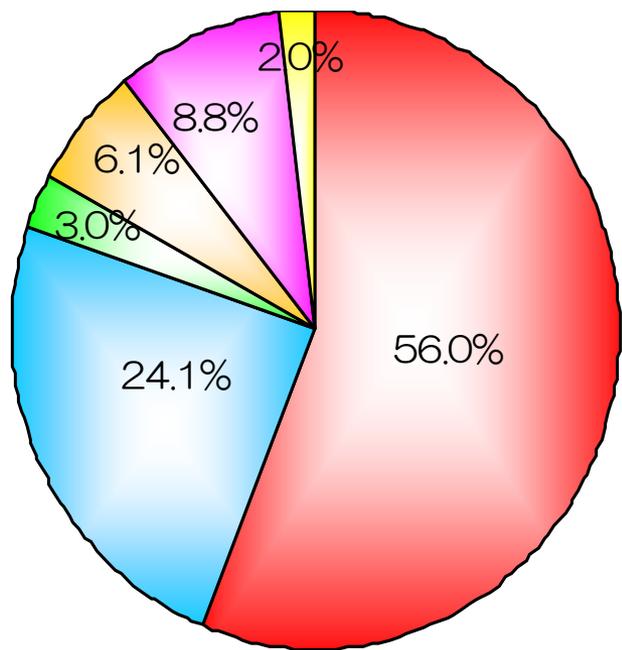




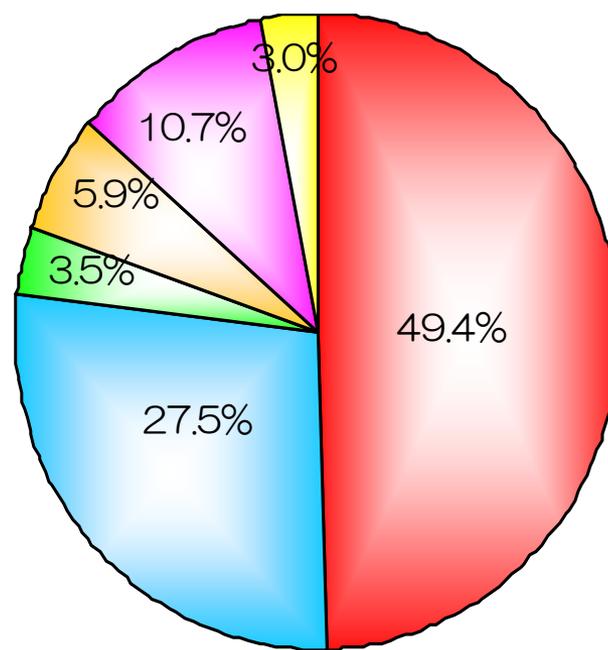


12年3月期 売上 4,120億円

13年3月期 売上 4,263億円

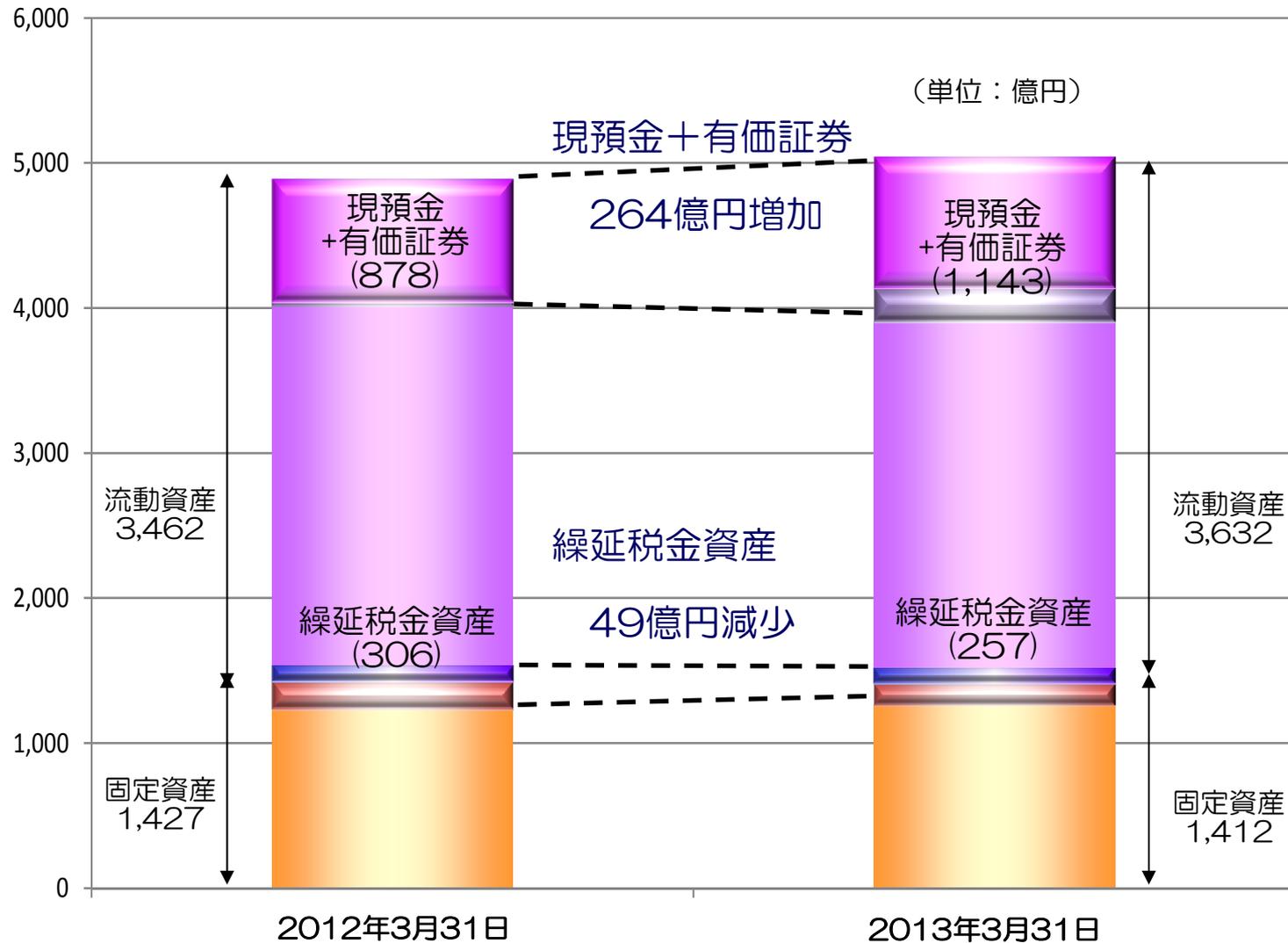


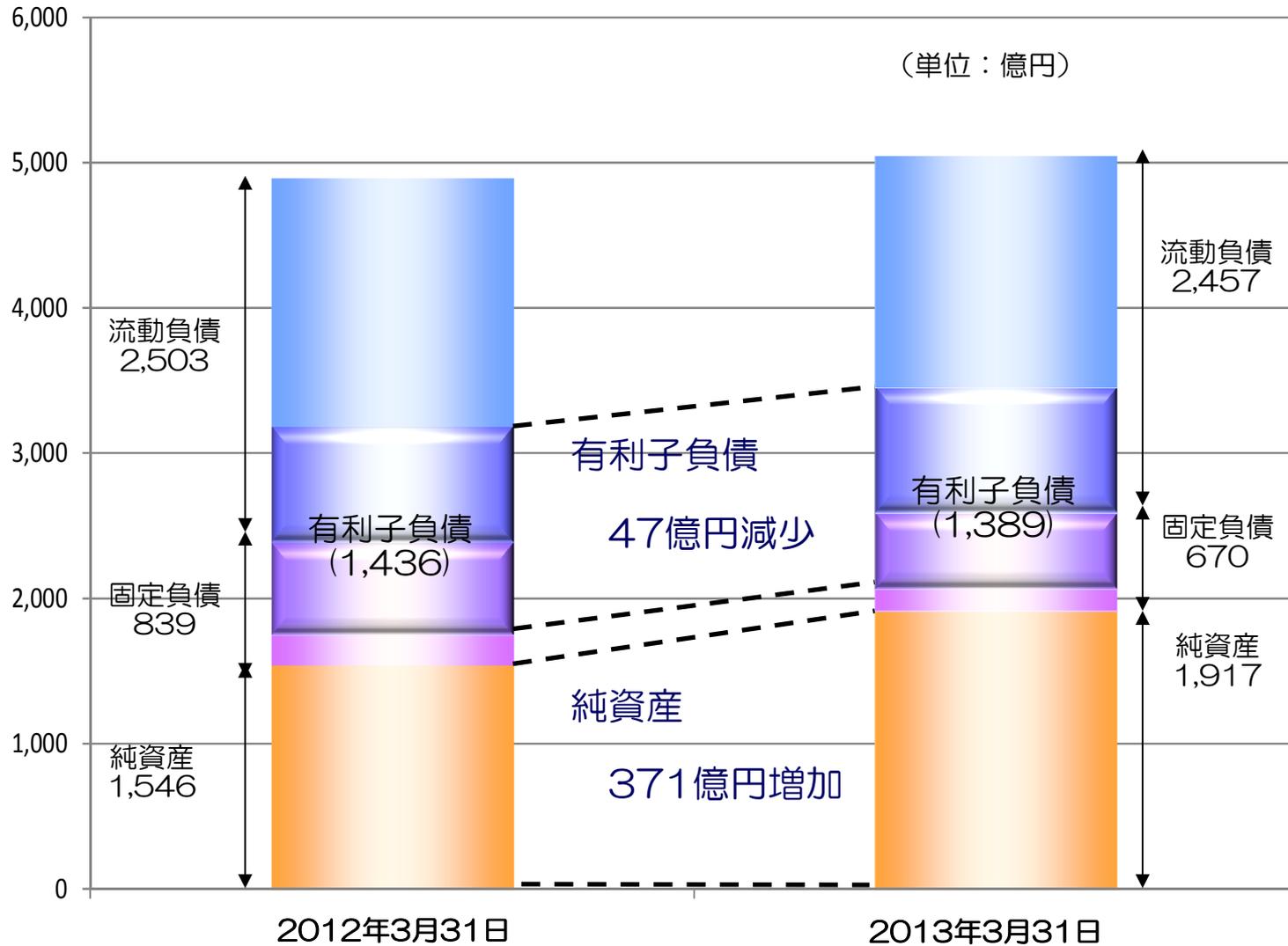
海外売上比率  
44.0%



海外売上比率  
50.6%



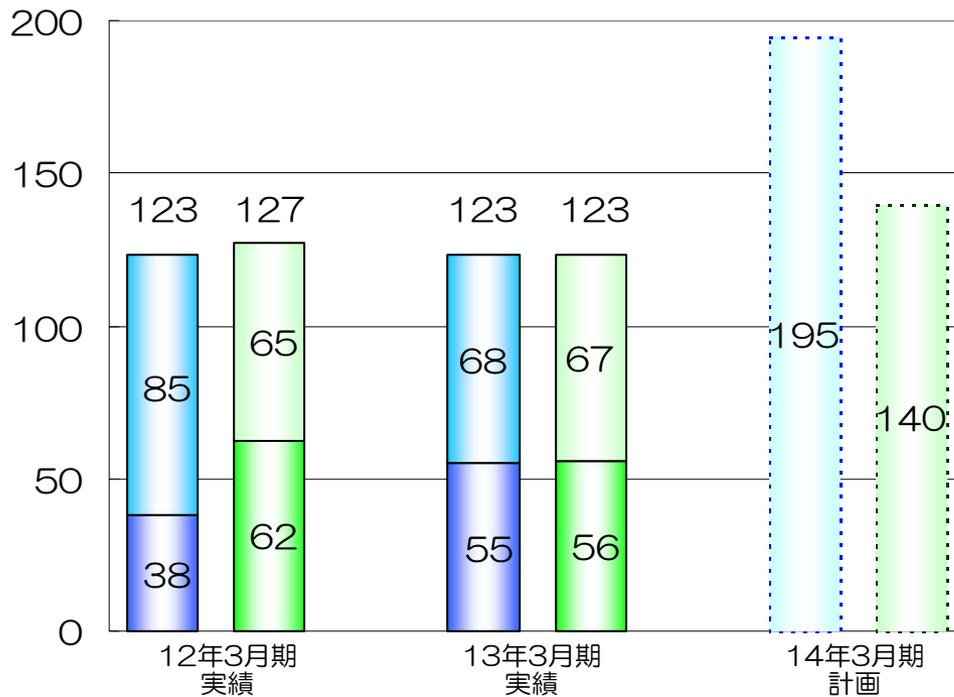




資本的支出・減価償却費

- 資本的支出（上期）
- 資本的支出（下期）
- 減価償却費（上期）
- 減価償却費（下期）

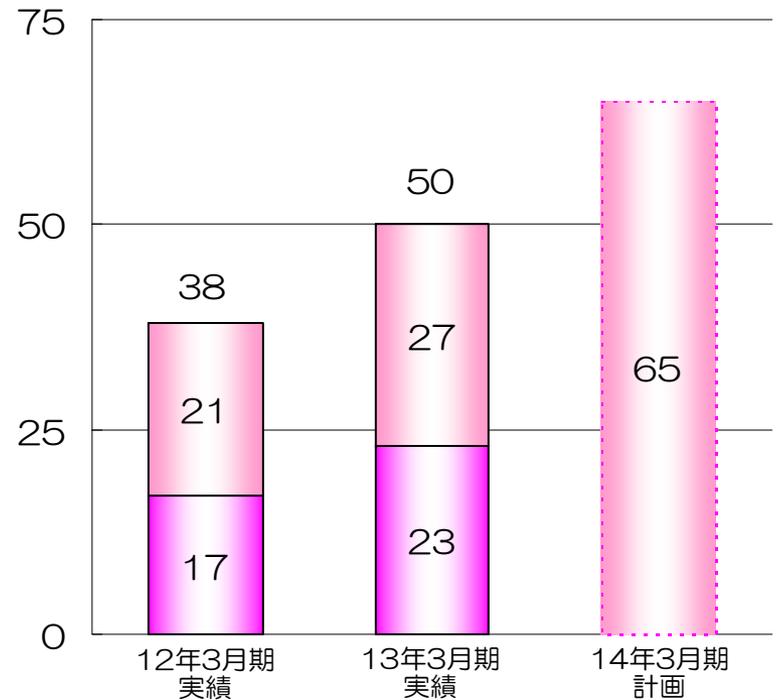
(単位：億円)



研究開発費

- 研究開発費（上期）
- 研究開発費（下期）

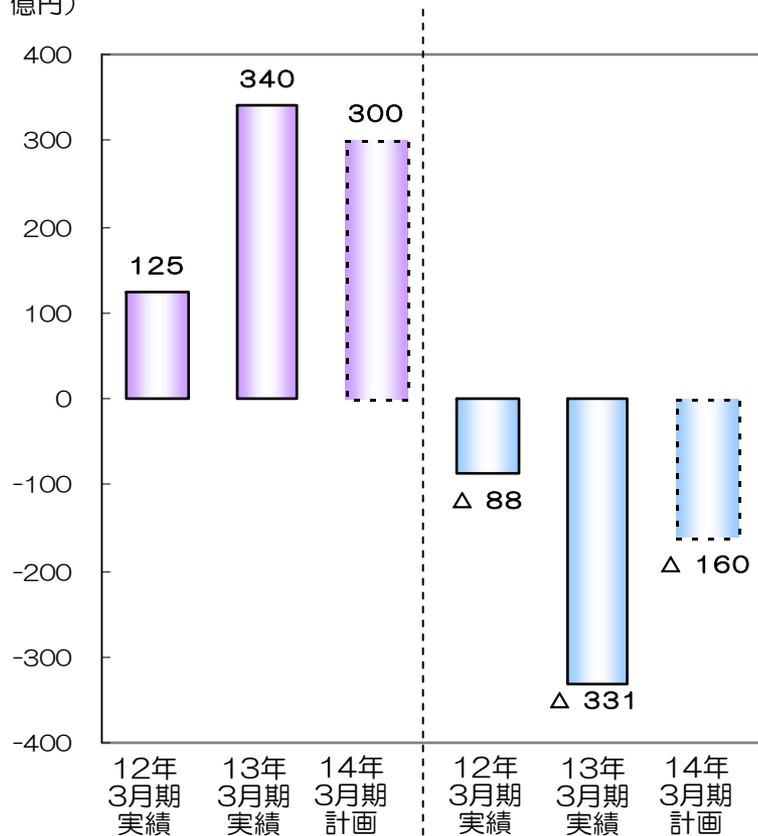
(単位：億円)



キャッシュフロー

- 営業活動キャッシュフロー
- 投資活動キャッシュフロー

(単位：億円)

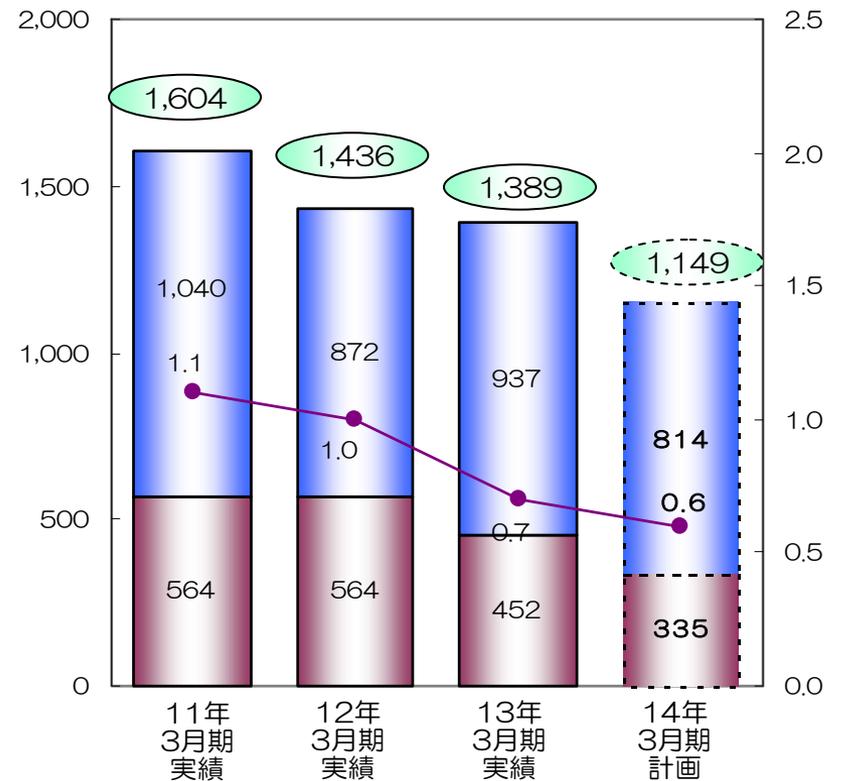


有利子負債残高

- 有利子負債
- 現金及び現金同等物
- NET有利子負債
- D/Eレシオ

(単位：億円)

(単位：倍)



# 1. 決算概要

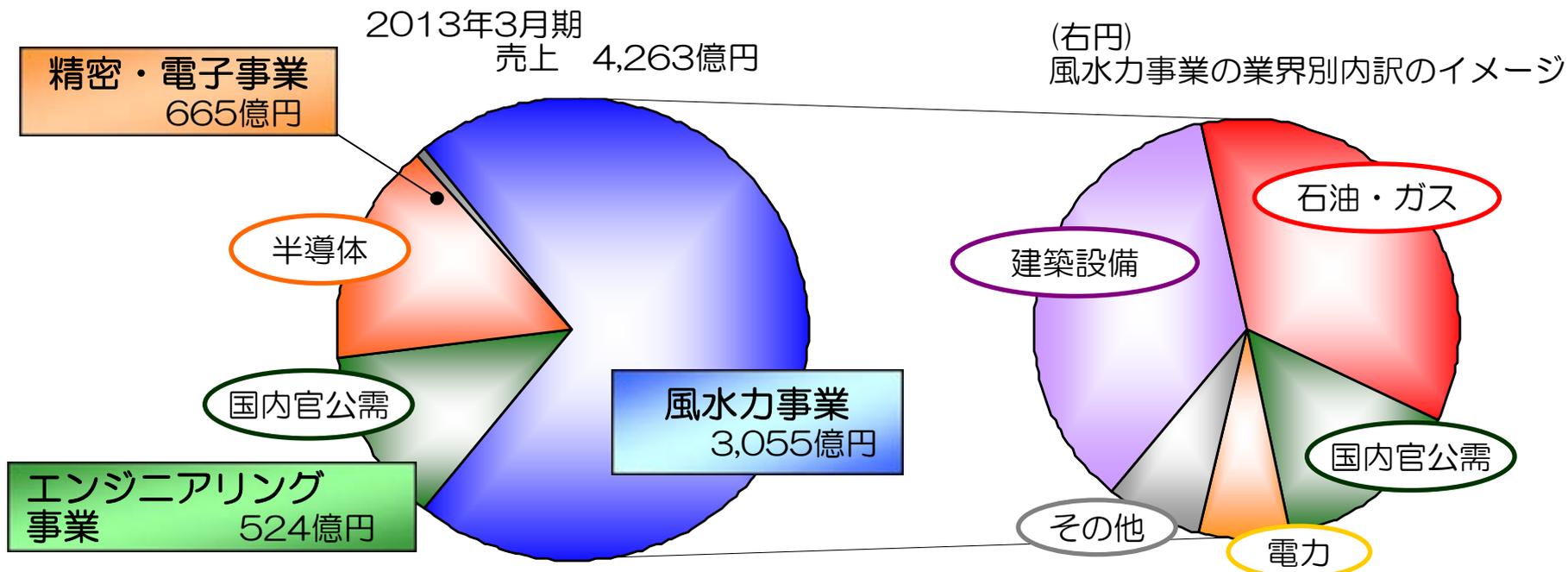
取締役専務執行役員  
経理財務担当

藤本 哲司

# 2. 今期の見通しと 経営戦略

代表取締役社長

前田 東一



主な事業環境

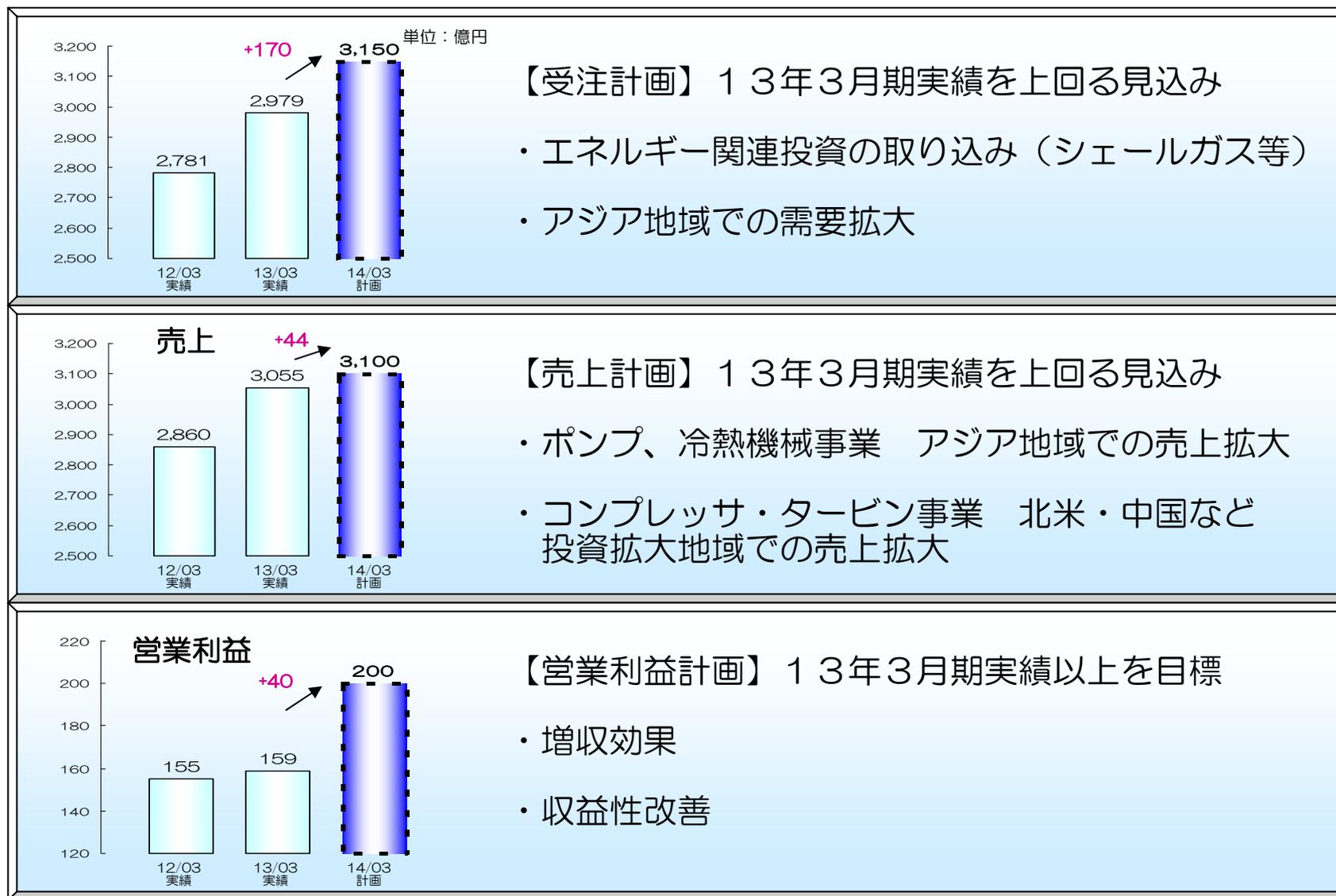
- 石油・ガス  
→ エネルギー関連市場が継続的に伸び、市場規模は拡大傾向が続く
- 国内官公需  
→ 国土強靱化計画の進展度合いによるが安定的
- 建築設備  
→ 国内中心、安定的
- 半導体  
→ 13年3月期からの市場環境悪化が継続、顧客の設備投資は年後半か

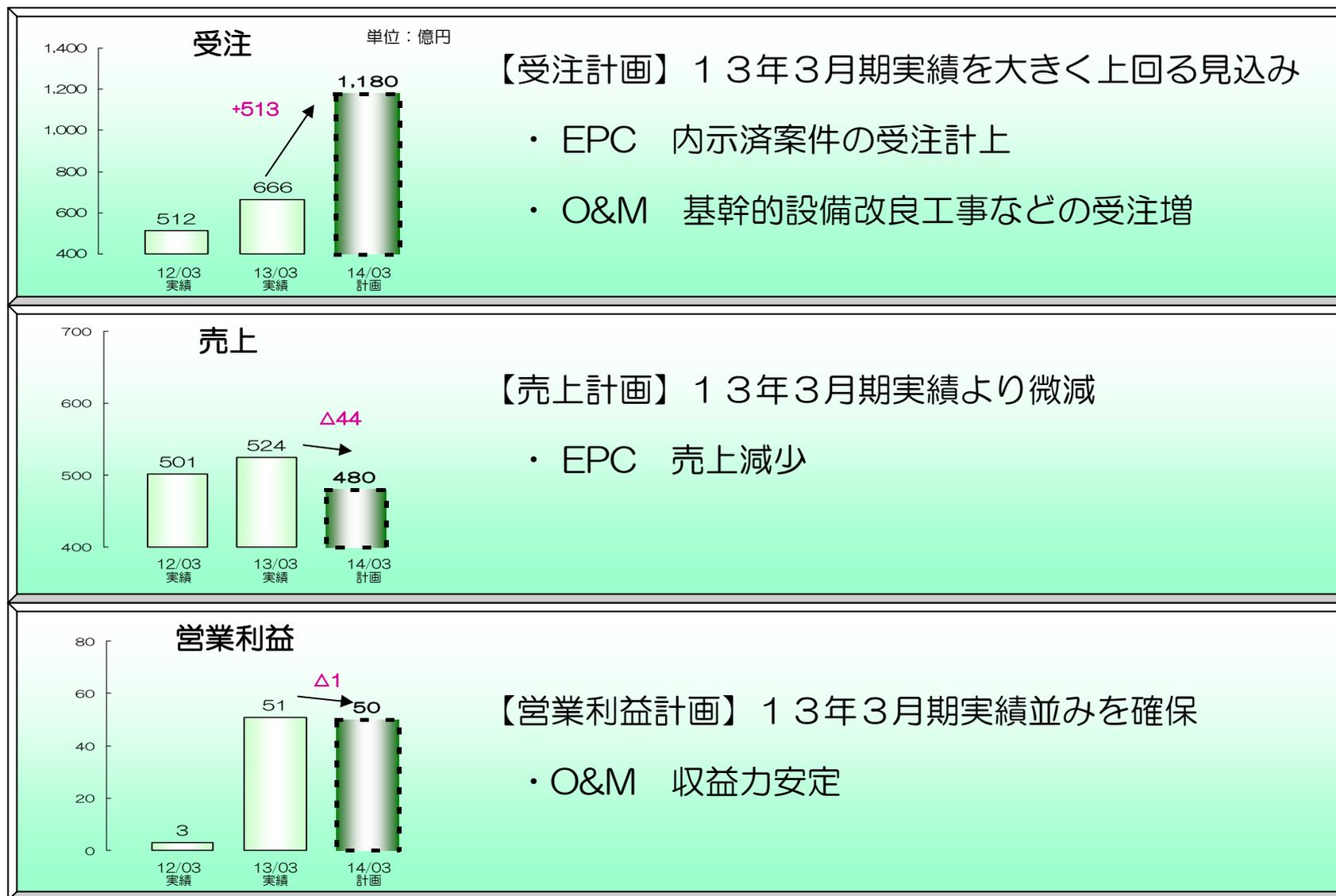
(単位：億円)

	2013年3月期 (実績)	2014年3月期 (計画)	増減
受注高	4,285	4,970	+684
売上高	4,263	4,220	△43
営業利益	250	290	+39
経常利益	256	280	+23
当期純利益	153	150	△3
実績レート	1ドル = 84.4円	—	—
想定レート	1ドル = 75円	1ドル = 90円	—

(単位：億円)

		受注高			売上高			営業利益		
		2013年 3月期	2014年 3月期	増減	2013年 3月期	2014年 3月期	増減	2013年 3月期	2014年 3月期	増減
報告 セグメント	風水力事業	2,979	3,150	+170	3,055	3,100	+44	159	200	+40
	エンジニア リング事業	666	1,180	+513	524	480	△44	51	50	△1
	精密・電子 事業	622	620	△2	665	620	△45	33	40	+6
その他の事業		16	20	+3	17	20	+2	5	0	△5
調整額		—	—	—	—	—	—	1	—	△1
合計		4,285	4,970	+684	4,263	4,220	△43	250	290	+39







## (1) 経営方針

### 継続していくこと

現・中期経営計画『E-Plan2013』の基本方針を受け継ぐ

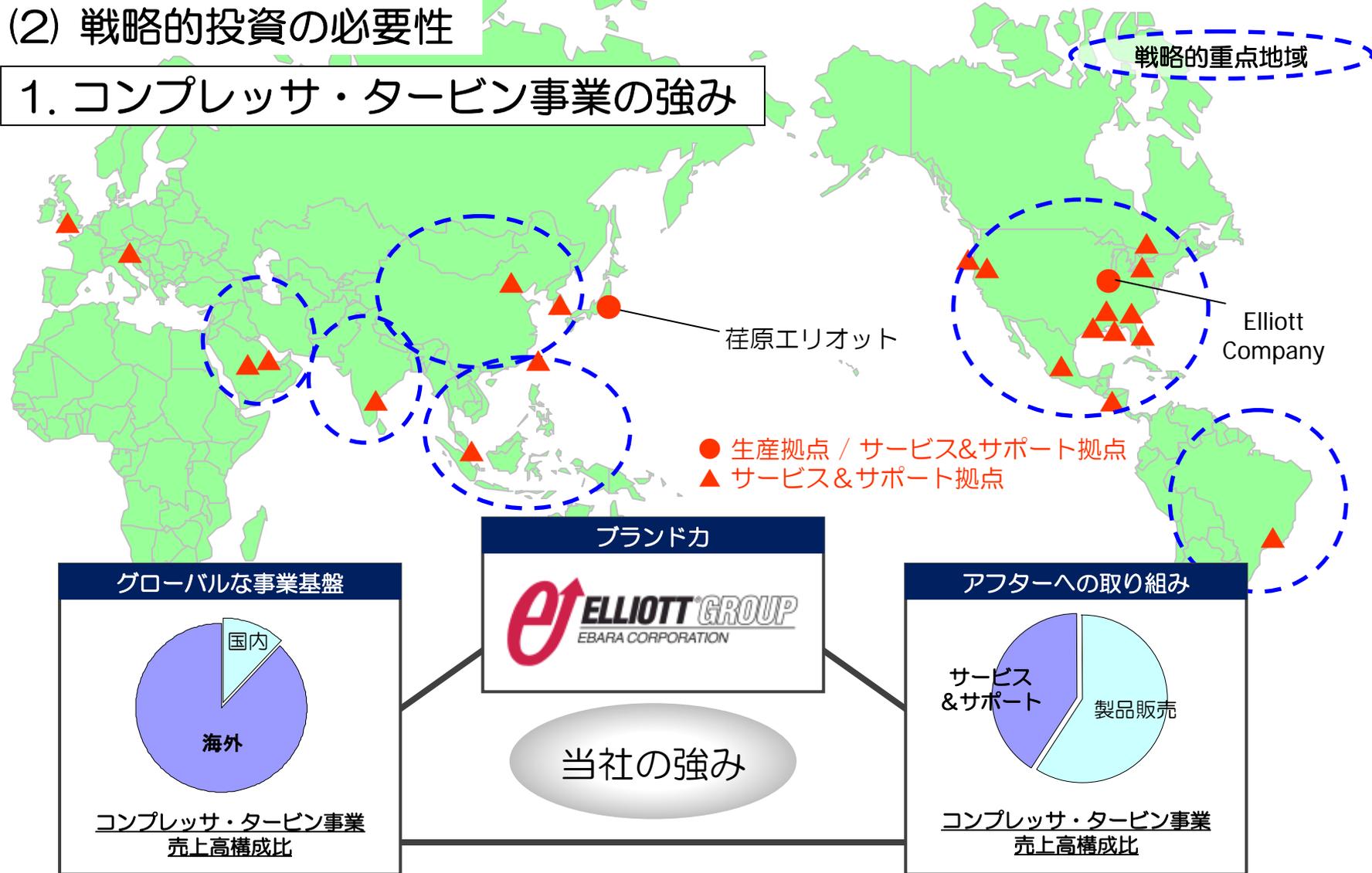
1. 重点地域での“域産域消”を推進すると同時にグローバルな視点に基づく最適地生産および製品供給を確立
2. 中核事業の領域拡大による新市場への進出
3. 科学的アプローチによる“ものづくり”プロセスの最適化
4. 事業領域のグローバル化に即した本社機能の拡充

### 変化すべきこと

「製造業」であると共に「サービス業」でもあることを意識し  
事業体制を変革していく

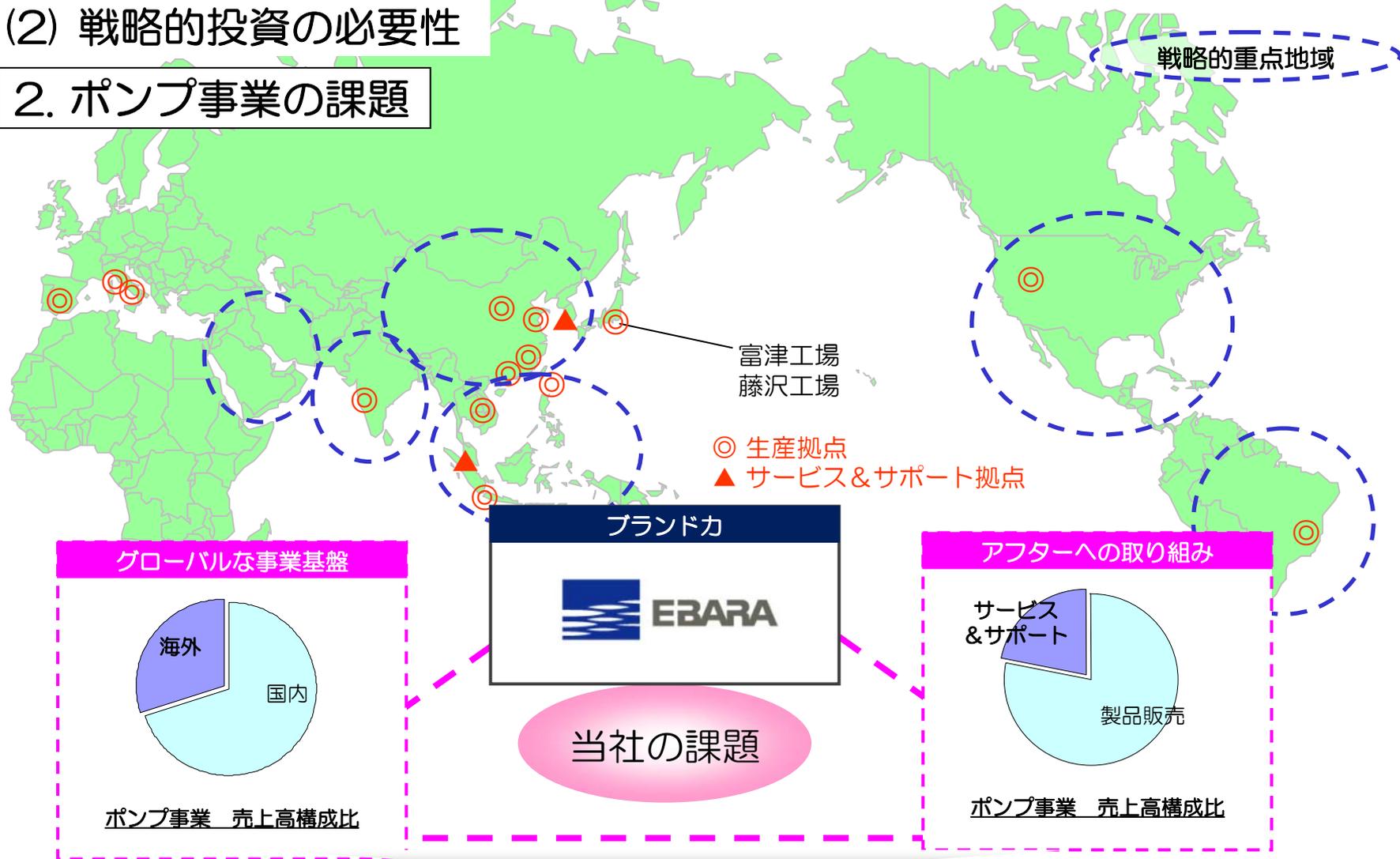
(2) 戦略的投資の必要性

1. コンプレッサ・タービン事業の強み



(2) 戦略的投資の必要性

2. ポンプ事業の課題



成長と安定収益を実現するには、更なる「グローバル化」と「サービス&サポート需要獲得」の加速が必要

### (3) ポンプ事業への戦略投資計画について

#### サービス&サポート事業を迅速に強化

- ・ サービス&サポート拠点を最適な地域に設置  
→ 納入実績の多い地域を重要地域として位置づけ
- ・ 性能の向上や最適化・機能の向上 等の顧客ニーズへ、  
最適解を提案できる高い技術力と設備能力の強化  
→ リレート(最適化改造)案件をモデルケースに
- ・ 販売とサービス&サポートを一体にして提案  
→ 顧客のニーズに合わせた形で新たな仕組みを導入

など

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定、を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。